日本介護食品協議会コーナー

ユニバーサルデザインフード

APEC 会議への出席

今般，APEC Conference in Chinese Taipei 事務局より本会森会長へ講演のオファーがあり，３月26日に台北で開催された下記の会議へ出席し，UDF に関する講演を行って参りました．

APEC とは「アジア太平洋経済協力（Asia Pacific Economic Cooperation）」の事ですが，我々がオファーを受けたのは，APEC Conference on Policies and Technologies to Promote Healthy Aging with Healthy Diet（健康的な食事で健康な高齢化を促進するための政策と技術に関する APEC 会議）であり，今回は APEC が持つ複数の WG のうちの一つ「Health Working Group（健康ワーキンググループ）」として，台湾（チャイニーズ・タイペイ）衛生福利部健康促進局の主宰により開催された国際会議です．参加国は台湾をはじめ，カナダ，シンガポール，マレーシア，タイ，ベトナム，そして日本でした．

今回のオファーに鑑み，本会が出席する意義を下記の理由として了承いたしました．

- UDF の理念，自主規格，取り組みをアジアの高齢化進行国にアピールできることは，将来にわたって本会の存在価値を高め，強いては会員企業のメリットに資すると考えられる．
- このような機会に本会が対応することで，アジアにおける「介護食品」の定義や規格を共有し，将来的な展開の契機としていくことが期待できる．

会議のテーマから，招待者の各演題については，世界の栄養問題に始まり，高齢者の低栄養，フレイル予防，AI を活用した高齢者の健康的な食生活の構築，参加各国の高齢者政策の共有など多岐にわたりました．

本会は「Enjoyment of Eating for All － The Universal Design Food（UDF）Initiative －（すべての人に食べる楽しみを －ユニバーサルデザインフード（UDF）構想－）」として，日本での介護食開発の背景から，高齢者の食べる機能と介護食品の役割，日本介護食品協議会の設立と運営，UDF 自主規格，今後の課題などについて本会森会長が講演を行いました．

日本からは他にも，飯島勝矢先生（東京大学高齢社会総合研究機構長・教授，未来ビジョン研究センター教授），三浦公嗣先生（藤田医科大学特命教授）の招待出席もあり，テーマに関連した各々ご専門のご研究をご披露されていました．

今後，介護食品は日本国内の供給にとどまらず，日本と同等かそれ以上に高齢化率の進展が急速なアジアをはじめとした国々でも需要が高まると思われます．近い将来，UDF やその技術がこれらの諸外国の食生活に関わっていくことが予想されます．

日程：令和７（2025）年
　　３月26日（水）
会場：張勇発基金国際会議
　　センター　台北市

演台に立つ森会長

集合写真（右端が森会長）

【会議，催事等の予定】

６月２日（月）　第１回普及委員会
６月10日（火）　第１回技術委員会
６月17日（火）　令和６年度監査会
６月20日（金）　容器包装研究会主催セミナー
６月26日（木）　2025未来食品フォーラム（台北市）

【UDF 商品登録状況（2,135品目・４月末現在）】

	区分１	区分２	区分３	区分４	とろみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	18	7	1	60	9	95
冷凍食品	324	245	780	36	0	0	1,385
常温食品	238	39	226	150	2	0	655
合　　計	562	302	1,013	187	62	9	2,135

【会員の異動（４月）】

計99社（４月末現在）．

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています．協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください．

事務局：東京都千代田区神田東松下町10－２
　　翔和神田ビル３階
　　TEL　03－5256－4804
　　FAX　03－5256－4805
　　https://www.udf.jp/